

第2章 潤いある環境を創出するまちづくり

2-1 自然環境の保全

1 地球温暖化対策

[現状及び課題]

- 地球規模の温暖化対策を定めたパリ協定の目標達成には、行政機関が事業所としての新冠町地球温暖化対策実行計画を策定し、全町的な取組みに発展させることが求められます。
- LED照明は、今後照明器具の標準仕様となっていくため、既存照明のLED化促進が求められます。
- 大規模な新エネルギーの導入は、日高管内の送電網の容量の関係から実現は厳しいことがわかってきており、今後は自立型のエネルギー循環システムなど地域で作ったエネルギーを地域で消費する形態の検討が求められます。

[基本構想]

- 町が環境問題について認識し、主体的に地球温暖化対策に取り組むことのできるまちづくりをめざします。
- 温室効果ガス削減に関する新たな計画策定や取組みにより削減をめざします。

[具体施策]

- 1 省エネルギー機器等の導入の推進
- 2 環境にやさしい新エネルギー導入の推進
- 3 地球温暖化に対する啓発活動の推進
- 4 町の公共施設から排出される二酸化炭素排出量削減の推進
- 5 町全体から排出される二酸化炭素排出量削減の推進

2 景観の形成

[現状及び課題]

- 新冠らしい景観（日高山脈、太平洋、牧歌的風景）の保全は、当町の重要な観光資源であり地域資源のひとつとなっています。
- 日高自動車道の延伸等により都市圏からのアクセスが充実し、サラブレッド銀座駐車公園や判官館森林公園の利用が増えたことで、さらなる自然環境保全への配慮が必要となり、今後も北海道景観形成ビジョンや景観法等に基づき、新冠町の美しい景観の維持が求められます。

[基本構想]

- 地域固有の景観、すなわち新冠らしい景観を保持・形成していくため、景観形成の阻害となる要因の改善・排除を行い景観形成の発展をめざします。
- 地域における多様な主体が協働して新冠らしい景観を推進するまちづくりをめざします。
- 町民総ぐるみの景観に対する意識の醸成と高揚を図り、町民・各種団体・事業者・町などが一体となった新たな景観・風景づくりを推進します。

[具体施策]

1 景観の保持・形成

- (1) 自然保護活動の促進
- (2) 景観に配慮した公共事業等の推進
- (3) 観光振興と連動した景観形成の促進
- (4) 景観に係る各種届出の周知徹底

2 景観・風景づくり

- (1) 景観に対する町民意識の醸成と高揚の推進
- (2) 景観モデル地区などの導入検討
- (3) 新たな景観・風景づくりの推進

《関連する計画》

北海道景観形成ビジョン（北海道）

2 環境衛生・美化活動の推進

[現状及び課題]

- 毎年1回マイタウンロード・クリーン運動を実施し、左岸道路周辺の清掃を実施していますが、例年投棄されたごみが散見される状況です。パトロールや看板設置、ごみ回収を強化していますが改善はされていない状況となっています。

[基本方向]

- 町民の自然環境の保護に対する意識の高揚を図るための取組みを推進します。
- 情報把握に努め環境へ大きな負荷をかけない生活の実現をめざします。
- 自治会・各種団体と連携し、環境美化活動の継続実施をめざします。

[具体施策]

1 自然保護の啓発推進

- (1) 自然保護に対する啓発活動の推進
- (2) 新冠町環境保全推進員等からの情報把握及び対応の迅速化

2 環境衛生・自然の保護

- (1) 公共下水道処理区域外における合併処理浄化槽の普及促進
- (2) 生活環境保全に関する町民意識の醸成

3 環境美化活動の推進

- (1) 自治会、関係機関と連携した不法投棄の監視強化及び処理の迅速化
- (2) 地域や各種団体等における環境美化活動の推進

3 火葬場・墓地の維持管理

[現状及び課題]

- 判官館霊園内の舗装や排水溝についてはひび割れや劣化が著しく、霊葬場についても屋根や玄関ポーチの錆が多くなっており、築50年を目途に霊葬場の更新工事も検討しなければならない時期となっています。
- 近年「墓じまい」により町外の納骨堂や共同墓へ移転するケースが数件あり、新たなニーズへの対応を模索しています。

[基本方向]

- 施設・設備の適正な維持補修により、火葬場の安定した運用に努めます。
- 霊園墓地の適正な管理と環境の整備を進めます。
- 生活様式や社会環境の変化などを踏まえ、新たなニーズや墓地等の整備方針について検討を進めます。

[具体施策]

- 1 火葬場の維持管理
 - (1) 人体、小動物火葬炉の適正な維持管理の推進
- 2 霊園・墓地の維持管理
 - (1) 霊園・墓地敷地内の整備と適正な維持管理の推進
- 3 新たなニーズ等への対応
 - (1) 共同墓^{*}など新たなニーズに対応する施設整備の検討

※共同墓

他の人たちの遺骨と一緒に埋葬するお墓で、個人で維持管理をする必要がないことや費用が安い反面で、宗教的儀式が行えないことや一度埋葬してしまうと取り出すことができないデメリットもある。